

Growing

October 2019
Vol. **86**
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

COLUMN: 先生紹介 ▶ 下釜 暁 (カイチ予備校)

常に目標を持つこと



初めまして。今年の5月からカイチ予備校で個別指導を担当しています下釜暁です。

僕は、中学1年生の夏から高校3年生まで開智にお世話になりました。今日は中学時代にカイチに通っていたころを振り返り、現在の生活に生きていることについてお話ししたいと思います。

中学生の頃を振り返り感じたことは、常に今自分は何を目標とし、そのために何をすべきかと

いうことを把握できていたことです。中学時代は定期テストや模試、月ごとに行われる各テストが頻繁にあります。僕はそこで好成績を残したいという目標を常に持ち、そのために必ずスケジュールを立てて取り組んでいました。カイチでは定期テスト前にスケジュールシートを使うことで、各教科の目標点とやるべき内容を明確にします。先生方がこのスケジュールシートの使い方を徹底して指導くださったおかげで、定期テストだけでなく、その他のテストでも応用することができました。そのおかげで、好成績をとることができたのです。

好成績を残すことにより、自分に自信をつけた

り、達成感を得ることができました。この積み重ねが、今の自分を形作ってくれたのだと思います。どんなに小さな目標でも構いません。日々この小さな目標をクリアしていくことが、皆さんを大きく成長させてくれるはずです。大事なのは、漠然とした目標ではなく、できるだけ具体的かつ細かい目標を設定することです。それによって、だらけることなく集中して頑張れる状況に自分を持っていくことができます。これは勉強面だけでなく、部活や私生活でも生かせると思うので、ぜひ意識して取り組んでみてください。



福井のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE

福井 幸司 (カイチ予備校)

大きな差の原因は小さな差

私はプロ野球観戦が大好きで、もちろん球場にも足を運びます。

今年はあまり時間が取れず、1回しか球場に行けていません。毎年「5回以上」が目標であることを考えると、来シーズンは巻き返したいところです。

さて、私はパ・リーグのファンですが、この記事を書いている現在、首位は昨年の王者である埼玉西武ライオンズで連覇に向けて勢いを増しています。残念ながら最下位は大阪の球団であるオリックスバファローズ。皆さんの元に配布される頃には順位が変動していることを祈りつつ本題に入ります。

首位と最下位にはどれだけの差があるのでしょうか？

実は20試合単位で勝敗を見てみると、首位は「11勝9敗」で最下位は「9勝11敗」になります。「10勝10敗」より「1つ多く勝てるか、1つ多く負けるか」の違いだけなんですね。ただこれが7回

繰り返されると大きな違いとなり、勝利を勝ち取り賞賛されるチームと敗れ去り苦汁を舐めるチームとに分かれることになります。

皆さんも宿題や居残り指導などで苦しい思いをすることもあるでしょう。でもそこで「数十分の頑張りを」続けられるかどうか大きな差を生むことを理解してほしいと思います。私はこれまで多くの生徒達を見てきましたが、成績を上げていく生徒は「何かとんでもない激しい修行」をしたわけではなく、日々の小さな課題を当たり前のように丁寧に積み重ねていった人でした。

そしてもう一つ大きな差を生む原因に気がきました。

きっかけはカイチ予備校で指導していて、文理学科に通う生徒の中でも上位層に入る生徒とそうではない生徒の違いを発見したことです。

それは「最初の説明で理解してやるうとする気迫と集中力の有無」です。

高校の授業は量とスピードが中学とは格段に

違います。同じことを繰り返し説明してもらえる時間はなく、一度乗り遅れてしまうと取り返すのがかなり大変になります。中学生までならば勉強時間を確保すれば取り返せたものが、高校では難しくなります。

カイチ予備校で授業をしていると、高校の授業に十分対応できている生徒は、説明の後の演習に入るのがとても速いのが分かります。逆に高校の授業に苦勞している生徒はテキストの解説箇所を読んだり、板書したノートを読み返したりしてから演習に入る。もうこの段階で同じ授業時間内での演習量に差が生まれているのです。

これは皆さんにとっても大切なことだと思えます。学校や塾での先生の説明を聴く姿勢がどうであるか、一度見直してみてください。ここを改善するだけで、皆さんの学力が上がるかもしれませんよ！



▲野球も勉強も小さな差が大きな差に…

カイチからのお知らせ

- 10月27日(日)は珠算1級～3級の検定試験です。26日(土)は直前練習を行います。時間は授業内で告知します。
- 11月3日(日)は珠算段位検定試験です。11月2日(土)は直前練習を行います。時間は授業内で告知します。
- 11月2日(土)は中学3年生対象に進研模試を実施します。

30日で成績を飛躍的に伸ばす学習法

いよいよ10月になり過ごしやすい季節になってきました。学校では運動会に文化祭など行事がたくさんあり楽しい季節ですが、受験生のみんなにとっては、毎週のようにある学校説明会、塾の受験特訓授業に実力テスト、英検、模擬試験ととても忙しい時期であると思います。

皆さんに、このGROWINGが届く頃には、大阪市統一テストが終わり10月の実力テストの直前、もしくは終了後という感じでしょうか。

この時期実施されるテストが全て受験校決定に直結する大切なものばかり気が抜けません。そんな中、「中間テストの点数が思ったより低かった」「夏期講習を頑張ったのに実力テストの結果が今ひとつ」と焦りを感じる人も少なくないのではと思います。場合によってはこの焦りは、もうダメだという無気力や、やる気が空回りしてイライラにつながることもあります。

今回のGROWINGでは、大切なこの時期に、飛躍的に成績を伸ばす学習法を段階に分けてお伝えしたいと思います。

ステップ1

この時期の位置づけと自分に残されている学習時間を理解する

10月・11月のテストデータは受験校を決定するために使われるものばかりです。中学校としては皆さんに無謀な受験をさせるわけにはいきませんから、**10月・11月の実力テストデータをもって各私立高校と相談し、事前に合格できる実力があるかどうかを判定**するようになっています。私立併願校が決まることで公立受験校も概ね決定しますので、今から11月末までは「志望校を受験するための勉強」、受験校が決まった12月以降は「受験校に合格するための勉強」と位置づけることができます。よって、この秋のテスト結果次第では、志望校を受験できないという事態にもなりかねません。

また、私立高校は10月・11月の実力テスト結果を優先的に11月から評価し、11月がダメな場合は10月で評価するようになっています。よって重要度が高いテストは11月になりますが、この実力テストは上旬に実施されますので、**皆さんに残された時間は約30日**。この30日の過ごし方で志望校を受験できるかどうかが決まります。

ステップ2

各教科の学習時間を割り出す

11月の実力テストまで皆さんに残された学習時間は30日。ここから、皆さんの学習時間を教科毎に割り出します。塾のある火・木・土は4時に家に帰り晩ご飯を食べる時間を考えても、塾まで2時間は勉強することができます。また、塾のない月・水・金日は4時から就寝時間の12時まで、食事、お風呂、休憩時間などの3時間を引いても最低5時間は勉強することはできます。ただし、この学習時間には塾や学校の宿題なども含まれていますので、日曜日の8時間の勉強時間はこれらと相殺させる予備時間として取っておきます。すると1週間に自分の受験勉強のために確保できる勉強時間は日曜分を引いた21時間となります。これを1カ月、4週間行くと**総学習時間は82時間**。5教科で均等割すると**1教科はおおよそ16時間～17時間**となります。もちろんこの時間取りは比較的余裕を持っていますので、**頑張る**

人なら**1教科20時間程度**は確保できます。また、教科間の時間取りも均等にせず、苦手教科に比重をかけるのももちろん良いと思います。

ステップ3

16時間でどのように勉強すれば良いか

学習法は2つです。この時期に最も有効な学習方法は実力・模試・入試過去問題の間違い直しの徹底です。これらの過去問題は各教科の学習内容を僅か50分のテスト時間で網羅するよう考え尽くして作られています。つまり、**過去問題の間違い直しを徹底することで、広域な受験範囲の学習をくまなく復習することになります**。「一度出ると同じ問題は出ない」等の考えは持たず、間違い直しを徹底的に行うことで、「出題頻度の高い場所を確実に復習できる」と考え、間違い直しをし、**再度テストをやり直して満点になるまで徹底**してください。

また、この間違い直しの際、**弱いと感じた単元を塾の受験テキスト(数学<標準>必修STUDY、<特進>実練、英語・理科・社会<標準>Win Pass<特進>実練)で戻り、弱点単元の穴を埋めるように学習し直してください**。これらのテキストは塾での授業や講習会で1度学習したものばかりなので、時間をかけずに復習でき効率的です。また、この単元学習に関しては、目次に目を通し弱点単元をピックアップして学習していくのも良い方法です。1単元復習するのにかかる時間は1～1.5時間。1教科16時間の学習時間があれば、10単元～16単元の復習が可能です。これは、ほぼ受験範囲の総復習に該当する単元数です。

- 1 実力・模試・入試過去問題の間違い直しを徹底する。解き直して100点になるまで鬼のように徹底する。
- 2 これら過去問題の間違い直しで「弱い」と感じた単元は塾の受験テキストを使って丁寧に復習する
- 3 この他、受験テキストの目次を見て「弱い」と感じる単元をピックアップして解き直す。

残り1カ月間の各教科の学習時間を考え、過去問題の解き直しや弱点単元の学習箇所を絞り込み、1週間単位で計画を立て学習する。もし、進捗がずれた場合には日曜日で調整しながら4週間、11月の実力テストを見据えて努力し続ける。

もし、焦る気持ちが出てきたら自分の足下を見つめて「今日自分がやるべきことに集中する」と自分に言い聞かせて、やるべきことを粛々とする。1日すべきことをしたら、「やるべきことはやった」と考えぐっすり眠る。

勝負の30日を、しっかり握りしめるように過ごしていく。

そうすれば偏差値3～5程度は必ず伸びます。

大切なことは最後まで集中力を絶やさず諦めないこと。そして、何より弱い自分に負けないこと。皆さんは、カイチに来て無駄な努力をしてきたわけではありません。みんな頑張ってきたのです。各自がきちんと地力を持っています。自分を信じて悔いが残らないよう最後までやり切ってください。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



中学3年生だけじゃない! 低学年のみんなも頑張っています!!

岡本 泰行 (今福・関目教室)

秋も徐々に深まってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。風邪などひいていませんか。

今回は今福教室のことについて書きたいと思います。もうこの季節になってくると中学3年生は入試に向けて五ツ木の模擬テストや、学校の実力テストや定期テストなどテストが盛りだくさんな時期です。一つ一つのことに一喜一憂するのではなく、じっくりとコツコツ勉強に励んでもらえたらと思います。



「全ての事は後にわかる。」

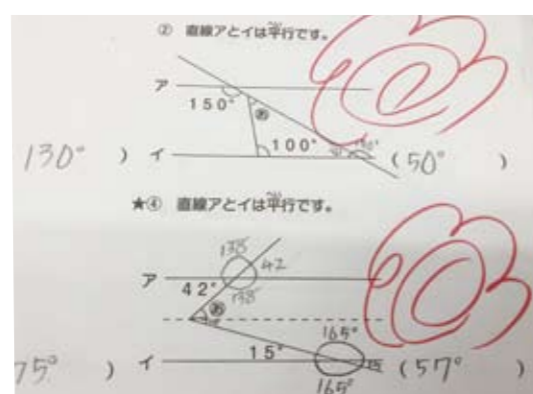
今は、「なぜ勉強ばかり」や、「勉強しんどい」などいろいろな壁にぶち当たっていることだと思います。今していることの意味が今は分からなくても、みなさんが大きくなった時に分かる時がきます。それは、皆さんの先輩達がグロイングでよく書いてあることだと思います。「あの時は〇〇と思っていたけど、今は△△だと思える」みたいな感じで!

だからそういう未来になるようにあと半年気合を入れて乗り越えましょう!



中学生の記事はこれから冬になるにつれ増えてくると思いますので、今福バスカルクッズに通う低学年の子達の話も少し。私事ですが、この春に子供が生まれまして子育てに励んでいる日々です。今までと違い、親になり子育ての大変さを身に沁みて感じ出しています。また一日一日子供の成長が感じられるという大変嬉しいことでもあります。カイチで中学生の子〜幼稚園の年長さんという幅広い年代を見ていると、低学年であるほど一日一日の成長が感じられます。挨拶が出来るようになってきたり、ぎっしりと座れるようになってきたりこの前出来なかったことが出来るようになってきているなどよくあります。授業の最初に本読みの時間があるのですが、最初は、読むのが嫌で、ただページをめくっているだけだったのが声に出してしっかりと本を読むようになってきたり、2けたの足し算が出来るようになってきたり、集中するのが難しかった子でも1年たてば、一万の計算をう〜んと考えながら答えを出すなど本当に成長を実感する機会がたくさんあります。中には中学校で習うような平行線の錯角や平行線の同位角は等しいなどの知識(錯角・同位角などの名前は教えず平行線の図から考えます)をフル活用しながら問題を解く子もいます。こういう子達を見ていて共通点は、「なんか楽しそう」ということです。私自身

▼小学2年生の答案、よくできています!



が授業中しょーもない話をして面白おかしく聞いてくれたり、そのせいか、子供達自身が自分のことをよく話すようになってくれたり、その話もその場にいるみんなと一緒に盛り上がりたりと、最初は全くの知らない子どもですが、半年、一年とたてば仲間ようになってきて、隣の子が咳をすれば「大丈夫?」と気遣ったり、年上の子が年下の子をちょっとしたことで面倒を見てあげたりとお互いを気遣いながら和気あいあいとやっています。そのおかげか予約待ちの方が出るほどまでご支持を頂きました。これからもしっかりと子供達を伸ばしてあげたいと思います。



本の読み方が違〜〜!



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



毎週土曜日、 文理学科講座&受験対策講座の様子

熊谷 周作 (今津教室)

暑さも和らいできましたが、皆さん体調はいかがででしょうか?秋が近づくと、今年も入試のシーズンが近づいてきたと、受験モードへと切り替わる季節になってきました。中学3年生は私立の受験校が決定間近になってきています。大阪市統一テストに、10月・11月に行われる学校の実力テスト、五ツ木模試や、進研模試など、志望校を決定するためのテストラッシュの時期となりました。この模試で結果を残すために、残り僅かな時間を有効活用しようと、カイチでは土曜日の昼間を利用して、対策講座を行っています。今回はこの講座について書いていきます。

まず土曜日に行っている講座ですが、大きく分けて3段階のレベルがあります。文理学科講座、そして、受験対策講座を2段階に分けたレベル設定。今年の文理学科講座は諸口教室に集合し、各教室の文理学科を目指している生徒を集めて、テストや、講義形式の授業を展開しています。受験対策講座は、各教室でレベルを2つに分けて、志望校のレベルに合わせて、模試や、実力テストで高得点を取るために、いつもより実践的な練習を行っています。

1. トップ10校設置の文理学科



大阪の公立高校のトップ10校には文理学科という極めて難関なコースがあります。この文理学科を突破するには、早い段階から対策をしていかなければ、合格を勝ち取るのは難しくなります。各教室でこの文理学科を目指す生徒が集い、同じレベルの子達がお互いの顔を知った上で切磋琢磨しています。この環境が子供達をより一層成長させてくれています。何より各教室の先生達にも大きな刺激を与えています。昨年度はこの文理学科講座に40名もの生徒が参加してくれ、31名の合格者を出すことができました。今年度も42名(9月末現在)もの生徒が参加してくれており、我々の目標としては昨年度同様の数字、31名の合格者を目標に指導しています。この文理学科講

座では授業毎にテストを行い、毎回点数を掲示することにより競争心を煽っています。各教室の先生達も、自分達が教えている生徒達が他の教室の生徒達に勝てるように必死になっています。このことで普段の指導にもいつも以上の熱が入っています。またトップ層の子達を知っていると、この講座に参加してくれた生徒達には、受験の時には大きなアドバンテージとなります。その子達の状態を自分の目で見て確認することで、受験時には大きな心のゆとりを生むことができます。

また授業をする側としては本当に胃が軋む思いで、授業をしています。少しでも他の子達よりも知識を得て帰ろうと必死になっている生徒。基礎事項は身に帰っており、それ以上のことを学んで帰りたいとしている生徒。入試の攻略法を知りたいと思っている生徒。様々な生徒がおり、普段見えない生徒が多数いる中での授業で、全員の期待に応えようと思うと、やりがいはあるのですが、大きなプレッシャーを感じながらの授業となります。生徒と先生の勝負の場。これに参加している生徒達には、貴重な経験の場となっているのではないかと思います。

2. 受験対策講座



この受験対策講座では、実力テストや、五ツ木模試、進研模試などの模試に対する対策と、受験対策の2本立てで授業は行われています。この講座を通して、実力テストや、模試での答案の作り方や、点数を上げることを意識した指導を行っています。今までの単元ごとの学習の知識を結びつけ、活用できるようにしていきます。こちらは上記の文理学科講座のように鎬を削る場というよりは、レベルに合わせて理解してもらい、今までの知識の確認を行っています。私が担当している社会では、資料の読み取り方や、記述問題の書き方といった、最近よく入試に出てくる問題や、実力テストで取り入れられている活用力問題を中心に

扱い、授業を行っています。普段の授業とは少し切り口が違った指導になるので、生徒達も受験への意識が高くなってきているようです。この講座が始まってからは、今津教室では中3生の自習の人数が飛躍的に増え、次の講座に向けての勉強を熱心に取り組んでくれるので、授業の合間や、手が空いている先生を見つければ、すぐに質問に来る生徒が増えてきました。この自主性のある勉強が成績を急上昇させてくれます。先生達は、一人ひとりの勉強を精一杯サポートしようとして、いつも以上に教室にへばりつき、質問対応に追われています。

3. 具体的に何を勉強すべきか

こうして普段の授業以外の勉強が増えるとうとういいかわからない生徒もいると思いますが、今津教室では次のことに気を付けて取り組んでいます。文理学科講座受講者は、週の前半は、前の土曜日の復習。後半は、次の授業への予習。受験対策講座は、1週間をかけて前週の復習をする。これは担当している先生だけではなく、非常勤の先生達と一丸になり、声掛けを行っています。もちろん普段の授業がおろそかになってはいけません。自習時間が増えた受験生であれば、両立できるように思います。

このように、これらの講座が土曜日の昼間に入ってくることで、中学3年生の生徒達は一気に受験モードに突入しています。今まで宿題や、課題をこなしていただけの生徒も、少しでも点数を上げようとして必死になってきています。受験を意識するので、受験校の事を本気で考えるようになります。受験校を本気で考えているからこそ、小テスト一つとっても、一喜一憂し、毎日成長するのが受験生です。このような日々を過ごす上で肝心なのが、保護者のサポートです。まだ幼さが残る受験生達です。一人で背負って何もかもやれない場合が多々あります。保護者の方達のサポートが生徒達の背を押し、自信を与え、毎日乗り越える力を与えるのだと思います。

今年の受験対策講座は、昨年度とはやり方を大きく変更している為か、早い段階での受験校の相談を例年よりたくさんいただいています。それだけ生徒達、保護者の方々が早い段階で、本気で受験に向き合ってくださっていると思うので、その期待に応えられるよう、我々も研鑽を積み、より良い指導ができるように、頑張っていきたいです。